

さの秀郷まつり 流鏑馬

正しい申告と納税推進都市協議会会報

秀郷

第17号 令和7年12月1日発行

佐野商工会議所／佐野市あそ商工会／佐野農業協同組合／佐野税務署管内青色申告会連合会
佐野小売酒販組合／公益社団法人佐野法人会／佐野税務署管内納税貯蓄組合連合会
佐野市農業青色申告会／関東信越税理士会佐野支部／佐野間税会

「税についての作品」ポスターの部 入賞者

● 栃木県安足県税事務所長賞
あそ野学園義務教育学校9年 飯塚 愛莉

何気ない日常

税金

● 佐野税務署長賞
北中学校2年 若田部 文俊

税金でつくる

みんなの笑顔

● 佐野租税教育推進協議会長賞
城東中学校1年 川上 恋和

税金

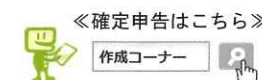
● 佐野市長賞
北中学校1年 野口 陸斗

みんな税金で暮らしてる

【佐野税務署からのお知らせ】

確定申告には、ご自身のスマホ・パソコンから国税庁ホームページ「確定申告書作成コーナー」を利用するe-Taxが便利です。

さらに、マイナポータルとe-Taxを連携（マイナポータル連携）すると、確定申告書の該当項目が自動入力されるため、医療費通知情報や寄附金受領証明書などを1件ずつ入力する必要がなく、書類の提出保存も不要となり便利です。



《マイナポータル連携はこちら》



令和8年1月5日（月）から2月13日（金）までは、税務署内に確定申告会場はありません。申告相談を希望される方は、令和8年2月16日（月）から3月16日（月）までの確定申告期間中に確定申告会場へお越しください（確定申告会場への入場には入場整理券が必要です）。

2月13日（金）以前に所得税・個人消費税・贈与税の申告相談を希望される場合は、事前に相談日時等を電話予約いただく必要がありますので、予約なくお越しいただいても対応できません。

安足県税事務所からのお知らせ

キャッシュレス納付が便利です！

納税通知書などに印字されたeL-QRを利用して いつでもどこでも納付できます！

◎納付方法：スマートフォン決済アプリ、ペイジー、クレジットカード

10月1日から始めました！

◇窓口開設時間短縮の試行（午前9時から午後5時まで）

◇収入証紙による申請手数料の納付のキャッシュレス化



栃木県 HP のチャットボットが税のよくあるご質問にお答えします。



お問合せ先 安足県税事務所 TEL 0283-23-1411

佐野市からのお知らせ

市税の納付には、便利な口座振替をご利用ください！

「忙しくて納付に行く時間がない」、「うっかり納期限を忘れて納付が遅れてしまった」

・・・このような手間や不安を、**口座振替なら解消できます◎**

足利銀行 みずほ銀行* 三井住友銀行* 群馬銀行
東和銀行 栃木銀行 栃木信用金庫 佐野信用金庫
中央労働金庫 佐野農業協同組合 ゆうちょ銀行、郵便局

こちらの金融機関で
口座振替ができます

*みずほ銀行、三井住友銀行は口座振替のみ取扱いとなっております。

☆ 申込方法 ☆ つぎのどちらかの場所でお申込みください

- ・市役所 収納課の窓口（キャッシュカードが必須）*がついている金融機関は、市役所では受付できません
- ・金融機関、郵便局の窓口（通帳、届出印が必須）

お問合せ先 佐野市役所 収納課 TEL：0283-20-3010

お申込み
お待ちして
います☆



納税は期限までに！！

秀郷第17号をお届けします。本年も、管内の中学校のご協力により数多くの税についての作品の応募がありました。生徒さんは勿論、ご家庭が学校関係の方々へ厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

去る11月2日（日）「どまんなかフェスタ2025」において、「税金クイズ大会」を開催し、大勢の方々に参加いただき大変盛況でした。

また、本年についても、去る11月11日（火）～17日（月）「税を考える週間」にて、受賞作品の展示を行いました。ご来場いただきました皆様ありがとうございました。

どまんなかフェスタ2025

編集後記

中学生の「税についての作品」応募状況

昭和42年から市内中学校に対し、「税についての作品」の募集を行っており、今年の応募状況は次のとおりです。

応募校数	標語	作文
10	848	1,087
ポスター	計	
252	2,187	

※この募集は、栃木県教育委員会事務局安足教育事務所、佐野市教育委員会の協力で実施しております。

「税についての作品」入賞者（敬称略）

令和7年度においても、管内の中・高校生の「税についての作品」を募集し、多数の応募をいただきました。

各関係者の皆様のご協力を得て、

作文・ポスター・

標語の審査を

行った結果、次

の方々が入賞さ

れました。

なお、入賞者

のうち代表者へ

の表彰が11月13

日(木)に仙水閣に

おいて行われま

した。



作文の部

【高校生の部】

◆佐野税務署長賞

税のない恐ろしさ

佐野日本大学高等学校1年 渡邊幸太郎

◆佐野税務署長賞

少子高齢化と税

栃木県立佐野松桜高等学校2年 根岸 美海

◆正しい申告と納税推進都市協議会長賞

消費税について学んだこと

佐野日本大学高等学校1年 松島 蒼

◆事業者の税

栃木県立佐野松桜高等学校2年 鈴木 心奈

◆日常に笑顔

佐野日本大学高等学校1年 鈴木 茉希

【中学生の部】

◆関東信越国税局長賞

税が敷く未来へのルール

佐野高等学校附属中学校2年 福永 美晴

◆関東信越国税局長賞

税で広がる世界

北中学校3年 山崎 紗奈

◆栃木県納税貯蓄組合連合会長賞

税金で守られる命

あそ野学園義務教育学校9年 飯塚 愛莉

◆佐野税務署長賞

暮らしを支える見えない力

あそ野学園義務教育学校9年 柿沼ひより

◆佐野税務署長賞

笑顔の花

佐野高等学校附属中学校3年 小佐見 綾

◆栃木県安足県税事務所賞

誰かの頑張りで

あそ野学園義務教育学校9年 野村美莉亜

◆佐野市長賞

安全な登下校

佐野高等学校附属中学校3年 柏崎 希翔

◆佐野租税教育推進協議会長賞

自分の身近な税について

佐野高等学校附属中学校1年 小林 琉花

◆佐野市長賞

学びを支える、目に見えない力

南中学校2年 町田 更紗

◆「身近な家族から考える社会保障と税」

赤見中学校2年 大芦 孝介

標語の部

◆全国間税会総連合会長賞

税を知り 正しく納税 広がる未来

佐野高等学校附属中学校2年 三田 陸斗

◆佐野税務署長賞

税を知り 納めて創る よりよい未来

葛生義務教育学校8年 田名網桜月

◆栃木県安足県税事務所賞

税金で つないでいこう 次の時代

城東中学校2年 小松 春音

◆佐野市長賞

納めよう よりよい社会をつくるため

あそ野学園義務教育学校8年 内田 悠愛

◆佐野租税教育推進協議会長賞

気づいてほしい 税金の大切さ

きつとみんなのために

◆佐野税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

税金で 守る命 未来の夢

南中学校2年 高橋 優心

◆正しい申告と納税推進都市協議会長賞

納税で 溢れる笑顔 輝く未来

城東中学校2年 須佐 栞愛

◆関東信越税理士会佐野支部長賞

税金と 一緒に創る 社会の未来

西中学校2年 加藤 諒華

正しい申告と
納税推進都市協議会
組織紹介

会長	佐野税務署管内納税貯蓄組合連合会
名誉会長	藤波 一博
副会長	佐野商工会議所
会長	三好 仁
副会長	佐野税務署管内納税貯蓄組合連合会
会長	福田 紳一
理事	公益社団法人 佐野法人会
会長	金子 重雄
理事	佐野税務署管内青色申告会連合会
会長	岩崎 榮市
理事	佐野間税会
会長	磯野 允康
監事	佐野市あそ商工会
会長	大関 輝雄
監事	関東信越税理士会
佐野支部長	高橋 孝之
委員	佐野農協同組合
代表理事組合長	金井 猛弘
委員	佐野小売酒販組合
理事長	大貫 徳一
委員	佐野市農業青色申告会
会長	川田 恒夫
顧問	佐野市
市長	金子 裕
顧問	佐野税務署
署長	高橋 敏道
顧問	栃木県安足県税事務所
所長	森尻 光一
相談役	佐野商工会議所
元会頭	島田 嘉内
賛助会員	佐野地区金融団

ポスターの部

◆正しい申告と納税推進都市協議会長賞

大切な税金

田沼東中学校1年 山口 結羽

◆税金の大切さ

あそ野学園義務教育学校9年 桑川 珠愛

◆税金のおかげで

佐野高等学校附属中学校1年 今泉 杏梨

◆佐野税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

「税金を支える私たちのくらし」

城東中学校3年 伊藤みち花

◆税金が人々を助ける

あそ野学園義務教育学校9年 阿世比丸菜奈

◆税金の使われ方

赤見中学校3年 小原澤すみれ

◆税金で未来を

あそ野学園義務教育学校9年 山崎日向葵

◆見えない税金

佐野日本大学中等教育学校3年 式町 朱里

◆私を支えてくれる安心のもと

西中学校3年 佐々木もも

◆税のルール

佐野日本大学中等教育学校3年 水野 陽花

◆私たちの生活と税金

あそ野学園義務教育学校9年 高田 玲奈

◆病院と税の関係

赤見中学校2年 高橋 涼

◆税で世界を豊かにするために

葛生義務教育学校8年 齋藤 美羽

◆佐野税務署長賞

北中学校2年 若田部文俊

◆栃木県安足県税事務所賞

あそ野学園義務教育学校9年 飯塚 愛莉

◆佐野市長賞

北中学校1年 野口 陸斗

◆佐野租税教育推進協議会長賞

城東中学校1年 川上 恋和

◆佐野税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

北中学校3年 森戸 心彩

◆正しい申告と納税推進都市協議会長賞

赤見中学校1年 柳沢 飛翔

◆関東信越税理士会佐野支部長賞

城東中学校2年 大澤 嘉麗

◆公益社団法人佐野法人会長賞

あそ野学園義務教育学校9年 小林 未奈

◆佐野税務署管内青色申告会連合会長賞

あそ野学園義務教育学校9年 森下 結月

◆佐野間税会賞

田沼東中学校3年 神長詩歩梨

◆佐野商工会議所会頭賞

あそ野学園義務教育学校9年 目崎 歩実

◆佐野市あそ商工会賞

北中学校2年 片山 瑞稀

◆佐野農業協同組合代表理事組合長賞

葛生義務教育学校8年 岩本 芽依

◆佐野小売酒販組合理事長賞

佐野日本大学中等教育学校3年 加藤 紗良

◆佐野市農業青色申告会長賞

田沼東中学校3年 川村 美月

◆佐野地区金融団賞

西中学校3年 西林すみれ

●作文紹介
関東信越国税局長賞

税が敷く未来へのルール

栃木県立佐野高等学校附属中学校2年 福永 美晴

先日、母が体調を崩し病院を受診した。そのとき、思ったよりも医療費が安く済んだことに驚いた。診察を受け、薬をもらっても、数千円で済んだのだ。この安さを疑問に思い調べると、医療費の大部分は税金で支えられていることが分かった。その仕組みがあるからこそ、私たちは安心して病院に行くことができるのだと知り、大きな発見だった。

日本には「国民皆保険制度」という仕組みがあり、医療を受けるときにかかる費用の大部分は税や保険料で賄われている。私たちが病院で支払うのは三割ほどで、残りは社会全体で負担している。だからこそ、誰でも平等に医療を受けることができる。もし税の支えがなかったら、病気やけがをしても医療費が高く病院に行けない人がたくさん出るだろう。そう考えると、安心して病院に行けるという当たり前のことが、税によって守られている当たり前ののだと実感した。

その経緯をきっかけに、私は「税が支えているもの」に目を向けるようになった。そして最近、特に関心を持ったのが宇都宮市に新しく開通したLRTだ。ライトラインと呼ばれるこの路面電車は、日本で約七十五年ぶりに新設され、多額の税金で建設された。

最初は、なぜここまで多額の税金をか

けるのか疑問に思った。しかし、調べるとLRTには大きな意義があることが分かった。例えば、車を運転できないお年寄りが病院に通いやすくなる。学生も快適に学校に通える。自家用車を持たない人でも買い物や通勤がしやすい。つまり、LRTは「生活の足」を広い世代に提供しているのだ。

さらに、地域全体の目線で見ると、渋滞を減らし、事故のリスクも下がる。駅周辺には新たな店舗や住宅が建てられ、街の活性化にも繋がる。自動車と比べ、LRTは二酸化炭素の排出量が少ないため、持続可能な社会を目指す上で重要な役割を果たすのだ。

税金は、医療費のようにすぐに効果が

感じられる使い道もあれば、LRTのよ

うに未来を見据えた投資という使い道も

ある。この二つを比べると、税は「今の

安心」と「これからの利便さ」の両方を

支えていると分かる。

医療費とLRT。分野は違うが、税に

よって生活を守り、未来をつくるという

点で共通している。病院で払わなかった

分の費用も、LRTを走らせるための費

用も、目には見えないが確かに税で支え

られている。税は「取られるもの」では

なく「皆で未来を築くためのもの」なのだ。

私たちは将来、働いて税を納める立場

になる。そのときには誰かのためと思

いながら税を納めた。そうすれば、社会

を変える一員であることを誇りに思える

だろう。医療費で感じた安心とLRTで

感じた未来への投資は税の力で支えられ

ている。私は、税を通して支え合う社会

の大切さを、これからも忘れずにいたい

と思う。